

# 第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

4-⑤

施策

交通弱者などが移動しやすい環境をつくる

担当部局

建設局

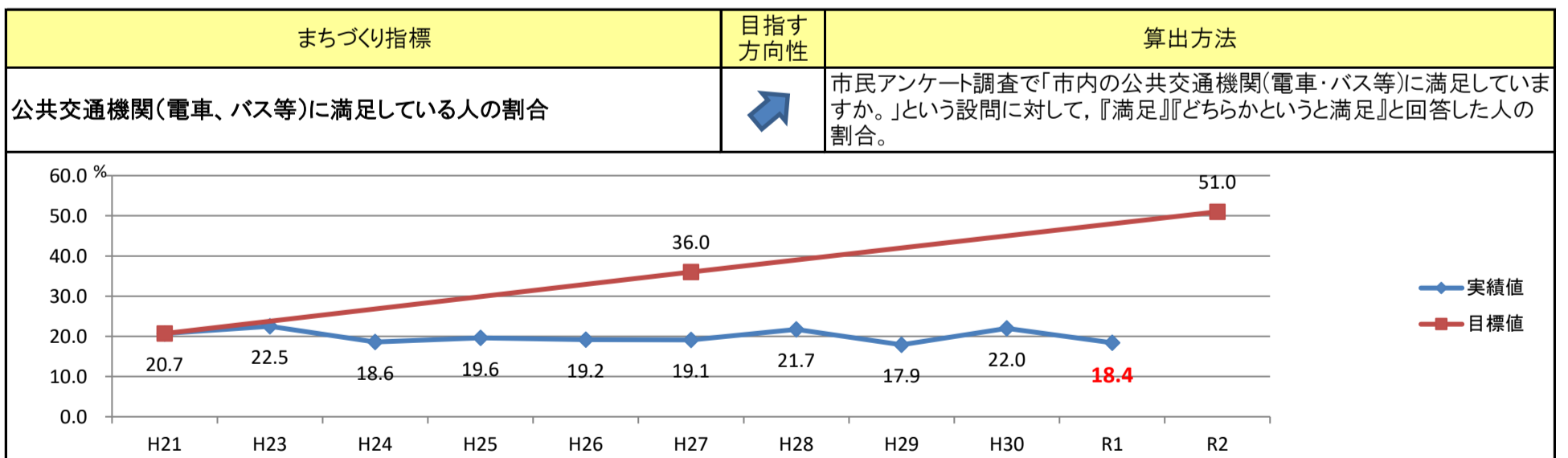
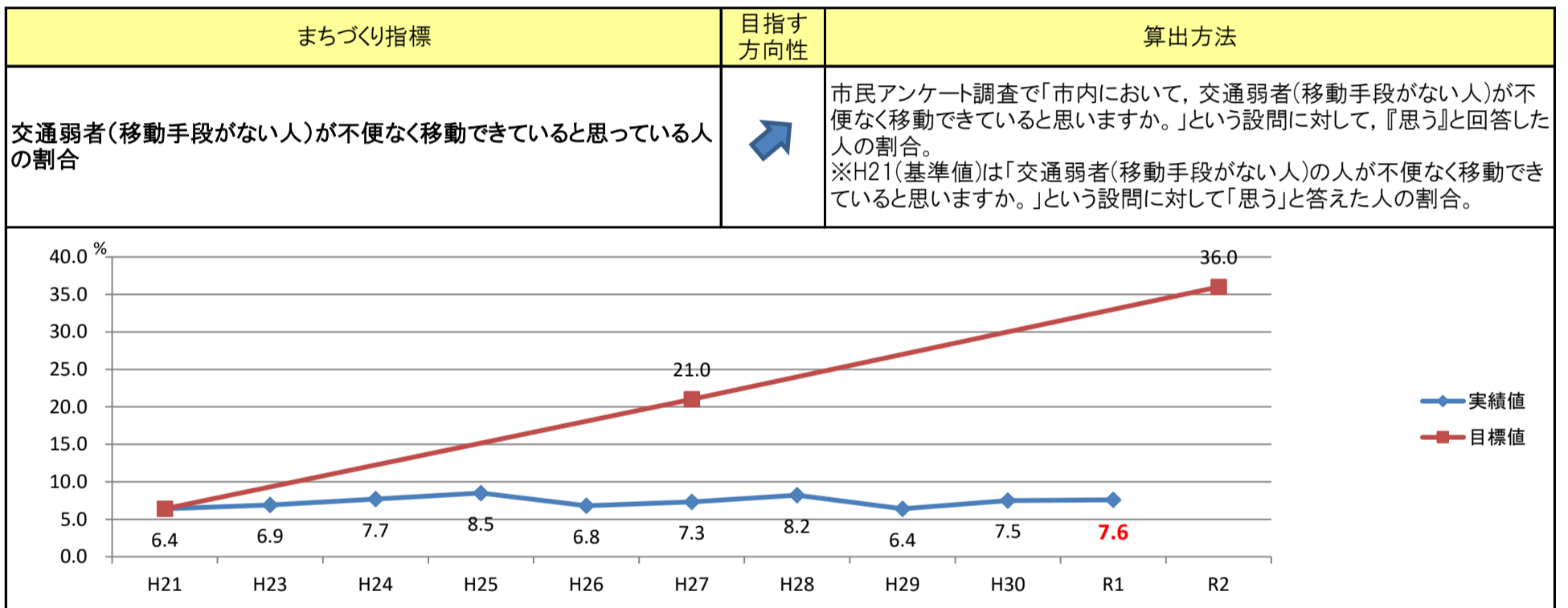


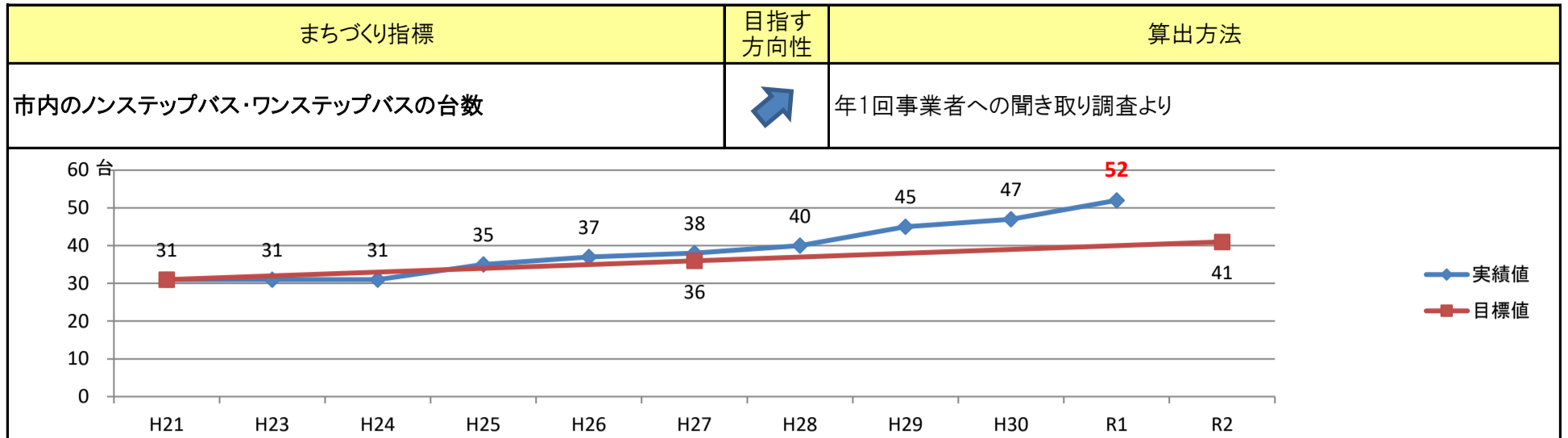
**【快適】** めざまちの姿 交通弱者が不便なく行きたいところに行くことができる

市の基本方針

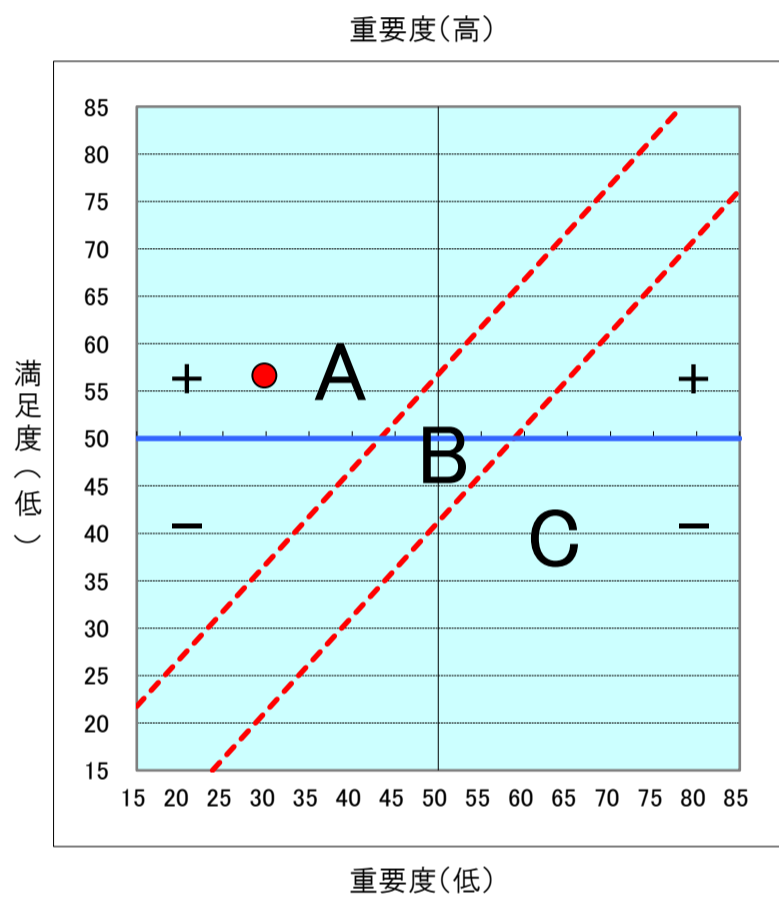
- 地域や企業、公共交通事業者と連携して、環境負荷の少ない公共交通のサービスを充実させ、自家用車から公共交通への転換を促進し、高齢者などだれもが移動しやすい公共交通機関の確保に努めます。
- 主要な駅及びその周辺地区の公共交通関連施設について、バリアフリー化を推進し、高齢者や障がい者など、すべての人が便利で快適に利用できる環境をつくれます。また、公共交通機関の利用が困難な交通弱者には、その他の交通手段の確保にも努めます。

数値目標





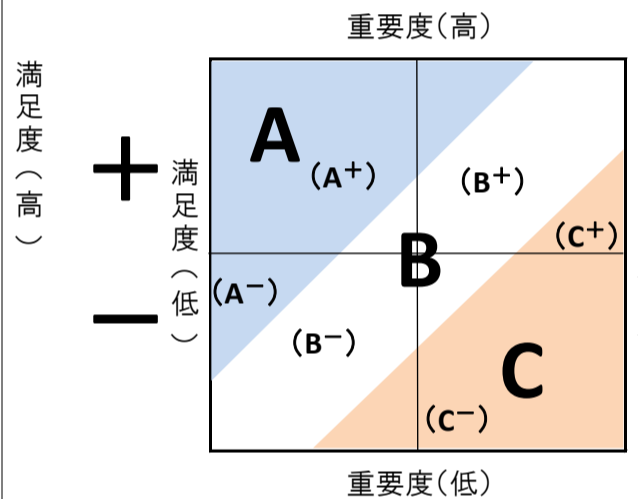
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
A+	56.63	29.81

- 重要度に見合った満足度が得られていない(A)
- 重要度が平均値より高い(+)

【グラフの見方】



A: 重要度に見合った満足度が得られていない領域  
 B: 重要度に見合った満足度が得られている領域  
 C: 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)  
 +: 重要度が平均値より高い部分  
 -: 重要度が平均値より低い部分

A+, A-, B+, B-, C+, C-

A+: 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I) / 令和元年度の主な実績(II) / 今後の方向性(III)	R1年度決算額(千円)
創	バス路線維持費補助事業	(I) 利用者の減少などにより、バス事業者の経営が厳しいことから、通勤・通学等の移動手段として、路線を維持することを目的に実施した。 (II) 市内を運行する3事業者14路線に対し補助することで移動手段を確保した。 (III) 継続して実施する。	31,842
創	コミュニティタクシー事業	(I) バス路線が廃止された地域や交通不便地域において、地域が主体となり運行するコミュニティタクシーなどの地域公共交通により、移動手段を確保することを目的として実施した。 (II) コミュニティタクシーの運営主体である9地区の地元の運営委員会に対し、運行費を補助するとともに、高齢者や障がい者、おかやま愛カードの所持者等の運賃を100円割引くなど、利用促進を行った。 (III) 継続して実施する。	26,410
	水島臨海鉄道補助事業	(I) 旅客輸送の安全及び旅客サービスの向上を推進することを目的に、老朽化した鉄道施設の改修・更新等の補助を行った。 (II) 水島臨海鉄道の行った鉄道施設の改修・更新等に対し補助し、利用者1,837千人の安全性等が確保された。 (III) 継続して実施する。	11,921
	井原線補助事業	(I) 線路や車両など輸送のための施設管理費(インフラ部分)について、国や関係自治体が費用を負担し、路線を維持することを目的に実施した。 (II) 井原鉄道の行った線路や車両等の修繕等に対し補助し、利用者約1,106千人の安全性等が確保された。 (III) 継続して実施する。	19,843
	公共交通対策推進事業	(I) 環境や交通について学ぶことで、将来に向けた公共交通利用の促進を図ること及び路線バスの利用促進を目的に実施した。 (II) 小学生等を対象としたバス教室を開催し、6校、374人が受講した。 (III) 継続して実施する。	653